

北海道建設新聞

メディア 樋門設計ツールを販売

メディア ミドルサードと提携、開発

メディア(本社・札幌、小林稔子社長)は、ミドルサード(本社・網走、田嶋勝義社長)と業務提携し同社が開発した、樋門設計ツール「EXCEL」で解く樋門設計「Ver.1.0」の販売を開始した。今後、二連樋門や落差工など工種を増やしシリーズ化する考えだ。

メディアは、設計条件を入力することで、樋門設計に関する各種の計算結果と、その過程や根拠を詳細に表示。分かりやすい報告書作りに役立つほか、この過程を知ることで技術者の育成に活用できることが特徴。

開発者の田嶋社長は網走管内で土木設計を手掛けており、P.C.アプリケーションの普及で、設計計算の過程や根拠がブラックボックス化し、技術者にもその流れが理解しづらい環境となつていくことを危惧(へい)。

この部分を詳しく盛り込んだ、このツールを開発。メディアの協力を得て、機能のチェックやライセンス管理機能を付加し製品化した。樋門設計の設計計画から、函渠、門柱、胸壁、翼壁U形水路、L形用壁、函

体縦方向までの各種設計を網羅。設計済み物件の妥当性チェックや照査など、発注者側の利用にもその機能を発揮する。今後メディアや改良設計の増大を視野に入れ各都府県を独立し、部分設計にも対応した。フォーマットは、自らが業務を通じ表計算ソフトなどで行ってきた手計算のノウハウや発注者の要請などを蓄積、反映させた。A4横を基本に、入力項目と計算結果に加え、結果に至る過程と基準書、仕方書に基づく設計根拠や解説、図が示される。エクセルの一般機能のみを使用しており、

ユーザーによるカスタマイズの自由度も高い。メディアの小林社長は「製品の出来に加え、将来に向け技術者を育成しようとする気持ちに強く共感した」として、今後全国の土木設計企業や工学系の教育機関を中心に売り込んでいく方針。

ウインドウスとエクセルの稼働するパソコンで利用可能。価格はライセンス八万四、〇〇〇円。学生、教育機関向けのア카데미パックは六万三、〇〇〇円。▽問い合わせ先メディア、☎011(261)5574